

大阪府下における高齢運転者による交通事故の発生状況と特徴について

(令和4年12月末現在)

大阪府警察本部交通部運転免許課 高齢運転者等支援室

1 大阪府下の高齢者免許人口

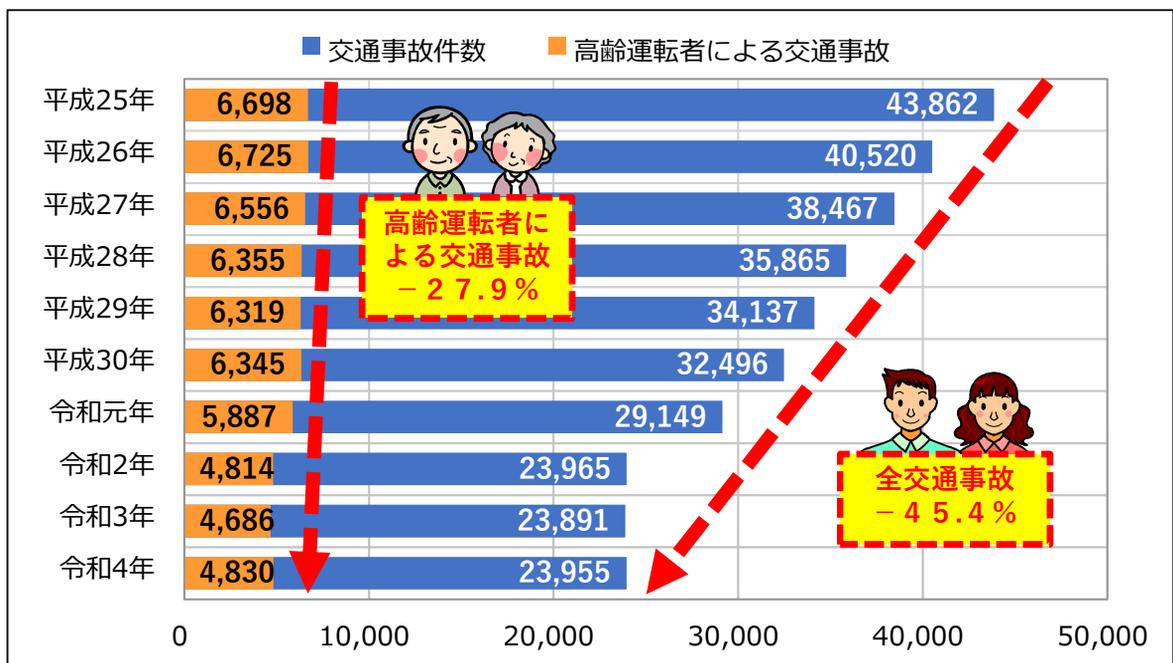
10年前と比較して、総免許人口は微増で推移していますが、高齢者（65歳以上）免許人口は約1割増加しており、全体に占める割合も増加しています。

	平成25年		令和4年
総免許人口	5,099,003人	0.45%微増	5,121,873人
高齢者免許人口	819,242人	11.0%増加	909,759人
全体に占める割合	16.1%	1.7%増加	17.8%

2 高齢運転者による交通事故件数

交通事故全体の件数は大幅に減少していますが、高齢運転者による事故は減少率が低く、全体に占める割合は約2割まで増加しています。

	平成25年		令和4年
事故件数	43,862件	45.4%減少	23,955件
高齢運転者による事故	6,698件	27.9%減少	4,830件
全体に占める割合	15.3%	20.2%に増加	20.2%



3 高齢運転者による交通事故の特徴（令和4年中）

(1) 類型別

交通事故全体では追突事故が最多となりますが、高齢運転者による交通事故では、出合頭事故が最も多く発生しており、続いて右左折時事故、追突事故の順で発生しています。



類型別トップ3（高齢運転者）

1位 出合頭（1,378件）

2位 右左折時（1,024件）

3位 追突（1,009件）

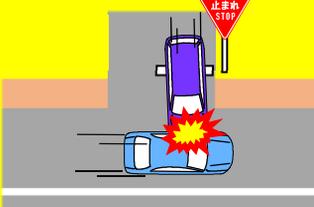


類型別トップ3（全事故件数）

1位 追突（7,069件）

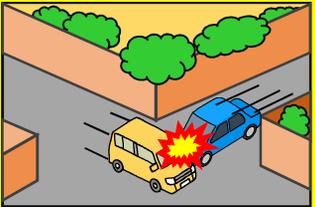
2位 出合頭（6,531件）

3位 右左折時（4,215件）



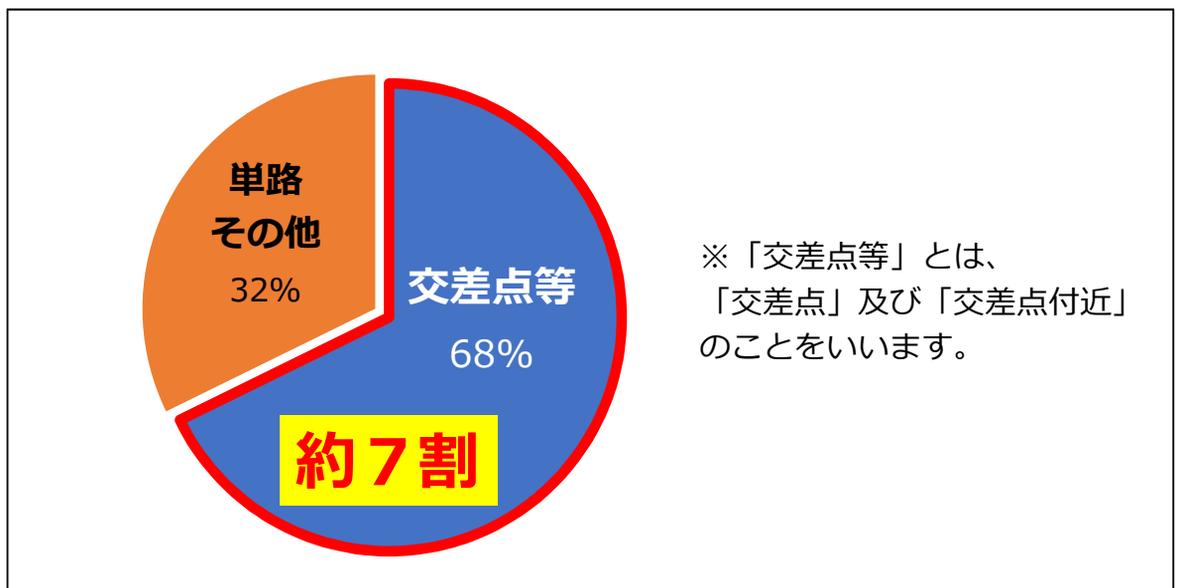
出合頭事故とは

異なった方向から進入してきた車両が交差する時に衝突する事故で、交差点において多発する傾向にあります。



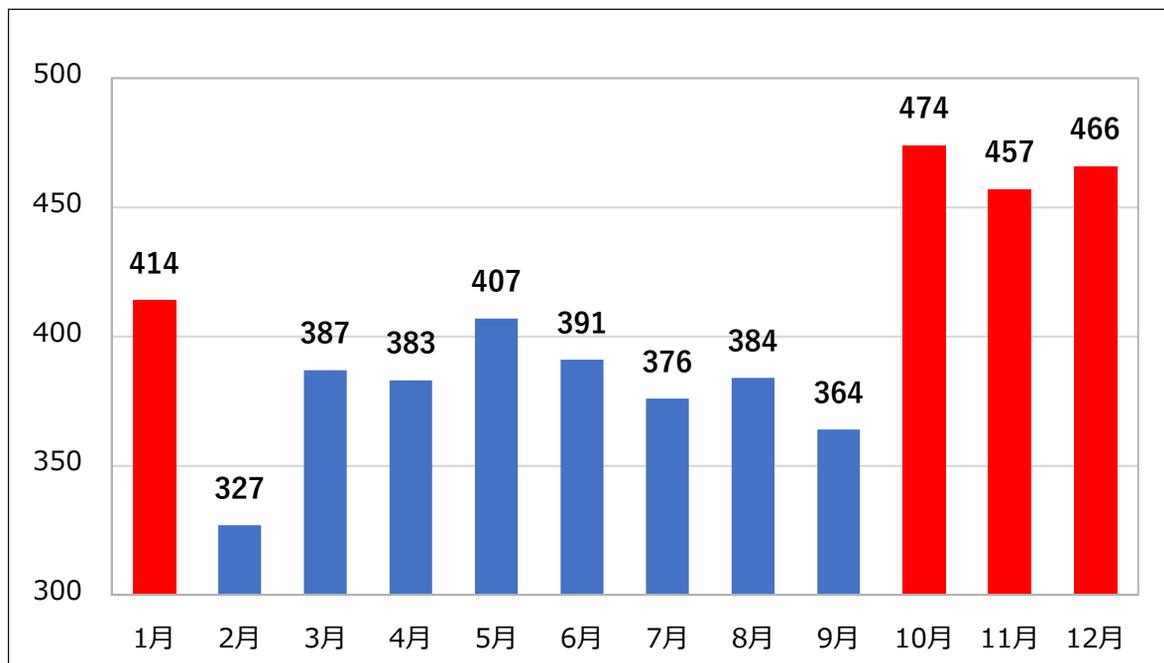
(2) 場所別

出合頭事故と右左折時事故が多いことから分かるように、高齢運転者による交通事故は、約7割が「交差点等」で発生しています。



(3) 月別

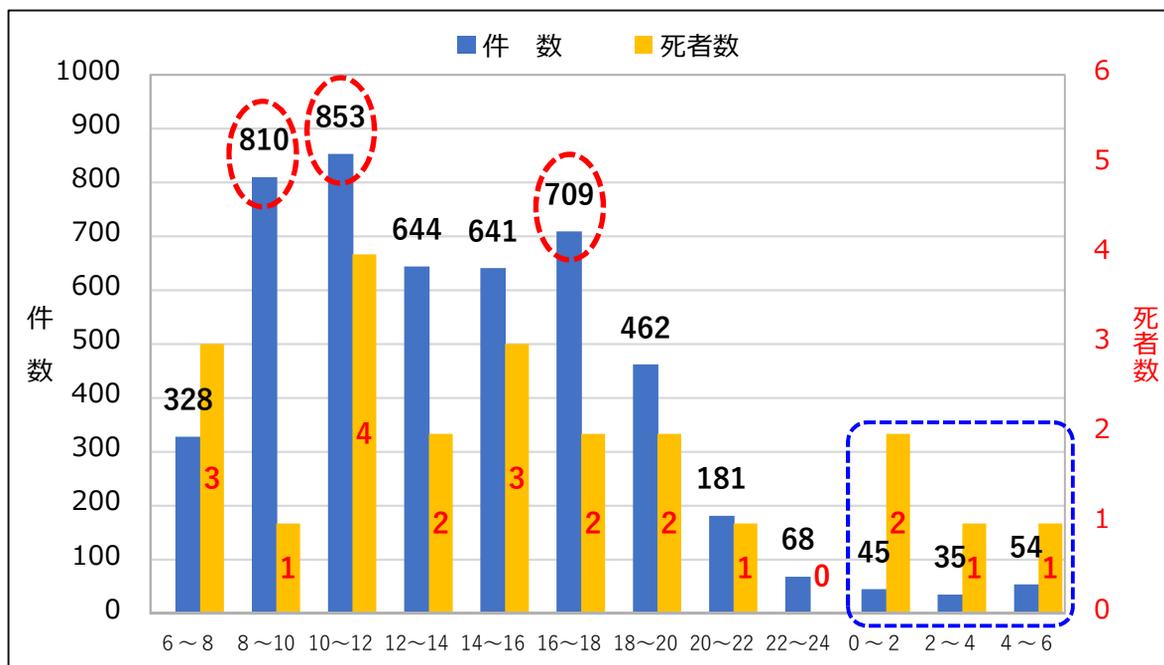
高齢運転者による交通事故は、毎月約300件以上発生しています。
なかでも、日没時間が早くなる10月から1月にかけて多く発生しています。



(4) 時間帯別

交通事故は朝の8～10時と薄暮時間帯の16～18時に多発していますが、高齢運転者による交通事故では午前中の10～12時も多発しています。

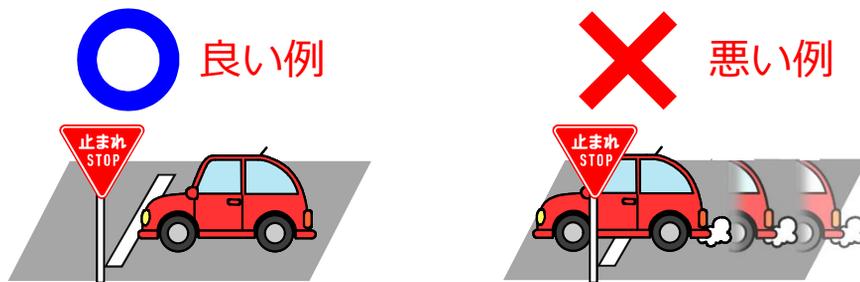
夜間から早朝の0時～6時は、発生件数は少ないものの、件数あたりの死者数の割合が増加し、死亡事故発生率が非常に高くなっています。



4 交通事故を起こさないために

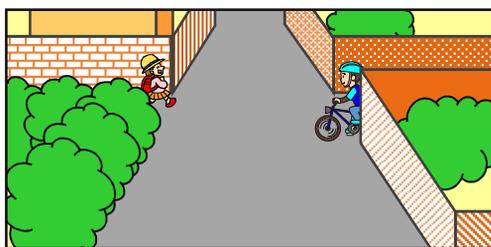
(1) 止まって、徐行して、左右の確認

- 一時停止の標識がある場所では、停止線の手前で必ず止まりましょう。



自分では完全に止まったつもりでも、少しずつ前進するケースが見られます。

- 左右の見とおしが悪い交差点では、必ず徐行し左右の安全を確認しましょう。



「徐行」とは、直ちに停止できるような速度で進むことをいいます。



(2) サポートカーを活用する

～ 先進安全技術で安全運転を支援する ～

サポートカー (安全運転サポート車)

交通事故の未然防止と事故時の被害軽減につながる、
安全運転支援装置
を搭載した自動車です！



衝突被害軽減ブレーキ (対車両・対歩行者)



ペダル踏み間違い時加速抑制装置



乗り換えだけでなく、レンタカー、カーシェアでも
サポートカーの利用は可能です！